

JARL 香川クラブ報

No. 366 平成21年8月15日



フイールド ミーティング (7月25日)

J A 5 Y D E

震災対策訓練会議

d e J H 5 E Z B

平成 21 年 8 月 4 日（火曜日）午後 2 時より第 1 回高松市震災対策総合訓練第 1 回事務打合会が高松市水道局 5 階にてありました。

香川クラブより天野名誉会長（JA5AHM）と私（JH5EZB）の二名が出席して来ました。

昨年は防災会議を高松市役所内で何回もし、牟礼地区で開催予定でしたが、又高松市と香川クラブで防災協定をしておりますが雨天の為に中止となりました。

今年の訓練内容は『香川県全域に強い地震が発生し、高松市内で震度 6 弱を記録した。この為、多数の家屋が全壊し、また火災が発生するほか、道路等の破損や交通機関、通信施設、電気等の施設に甚大な被害が生じ、市内沿岸部に津波警報が発令された。』上記の訓練を開催する為に香川クラブをはじめとする消防、警察、電力会社等、市内の関係機関が防災会議に出席致しました。

新聞、テレビ等の報道関係も昔に比べて情報が早く流れる様になって来て、小さい地震でも鮮明にわかるようになって来ました、おかげ様で我が国の地震の大変多い事にとっても不安がつのります。

先日も駿河湾で震度 6 弱の大地震がありましたね。
関東方面は良く地震がありますが、明日は我が身です。この平和な高松でも、いつ何時に震災に襲われるかと思うとアマチュア無線運用ものんびりと出来ません。

訓練と本番は当然異なるとは思いますが、それだけに真剣に訓練を行わなければならないと思います。

第 2 回震災対策総合訓練事務打合会は 9 月 15 日の午後 2 時より行われます。
それまでにアマチュア無線による情報収集等の訓練シナリオ、及び参加人数、機材内容を市の危機管理課まで提出しなければなりません。

高松市もかなり地区が広がり大変ですが、今回は香川町の川東小学校区で開催されます。校区外の私が訓練シナリオ作成の為に校区の地理等を色々調べていますがうまく作成出来ますかどうかちょっぴり心配です。

訓練開催日は下記の通りです、多数のご参加宜しくお願い申し上げます。

平成 21 年度高松市震災対策総合訓練

開催日 平成 21 年 11 月 8 日（日曜日）。
時 間 午前 9 時～午前 11 時 30 分。
場 所 香川町 川東小学校。
その他 雨天は中止する、
? の場合は午前 6 時に各機関に連絡。

連絡及び訓練周波数は 433.32MHz を使用します。

他の連絡方法は、

当日参加の方は 430MHz 帯のハンディー機を持参（無ければ結構です）して下さい。

集合時間は機材設置の為、午前 8 時 45 分迄にお願いします。

市民、県民、又県下のアマチュア無線家仲間がお互いに手を握り、もしもの災害が発生したならば（もちろん願うべきものではありません）我が故郷香川県を出来る限り守ろうじゃありませんか。

クラブ員各局のご協力のほどをお願い申し上げます。

フィールドミーティングの報告

de J I 5 X T P

つい7月半ばまでは雨が降らず、今年も渇水に悩まされるかと思っていたら毎日ぐずった天候が続き、香川のため池には多量の雨をもたらしました。

しかし肝心の四国の水瓶「早明浦」周辺にはあまり雨が降らず相変わらず、渇水を不安視させるような天候が続いています。

(クラブ報発効時には、台風9号のため給水制限は解除)
他県では香川の水不足をあざ笑うかのように、大水害が多数の尊い人命や家屋を奪いました。あとで、この災害が天災か人災かの論議が沸き起こりそうです。



明るい話題では46年ぶりに月が太陽を覆い隠す皆既日食が九州方面で観測できると天文ファンはこの日のために、遠く鹿児島

の離れ島にツアーで上陸し天体ショーを観測しようと待ち望んだが、当日は前日の天気が嘘のような大風雨で観測できず、テントから体育館に避難をしたようです。

自然の気ままな現象が天体ファンの夢を打ち砕きました。

高松ではダイヤモンドリングとまではいかないが、部分日食を楽しんだ方もいたようです。次の日本での皆既日食は26年後の2035年に楽しめます。それまでは元気でいたいものです。

当クラブのフィールドミーティングも間近までの雨で、「開催するか中止にするか」と迷ったそうですが、幸いにも雨も上がり開催の運びとなりました。

18時にはほぼ準備も整い会長の挨拶も漫ろに各自ビールを片手に乾杯の音頭を待ちわびました。

今回は焼き肉奉行のJ F 5 I C A向井さんや酒豪のJ F 5 M E D山田さんが参加できなかったので、焼き肉奉行の代役をJ H 5 P M Z多田さんがつとめ、最後の焼きそばまで面倒をみてくれました。

肉質がよいのか多田さんのレアな焼き具合がよいのか、網の上の肉や野菜はすぐに無くなり、次に焼けるのをお箸を咥え待っていました。仕事と一緒に何事にも真剣に取り組む多田さんの姿にまたファンが1人増えました。

酒豪の代役は全員で頑張りましたが、ビールや冷酒がたくさん残りました。

「やっぱり向井君や山田君がおらな駄目かな」

デザートはJ A 5 U Y 長尾さん自作の大きなスイカに全員舌鼓。見事なできばえと甘みのあるしゃきしゃきとした歯ごたえに59プラス プラスを送りました。

肝心の無線運用はオペレータ達が満腹感と心地よい睡魔に屈服して寝入ってしまい運用をすることが出来ませんでした。

〈参加者〉 JA5UY/JA5AHM/JA5IJL/JH5EZB/JH5LYW/JH5PMZ/JE5PBO/JG5OBX/JG5WTP
JI5XTP (ゲスト) JA5UVT/JJ5CAE



7MHz 拡張記念特別局「8J540M」の運用に関連して

de JH5LYW

すでにクラブ報 No.365 号（6 月 15 日発行）で横田 OM が途中経過を報告されたところではありますが、7 月 20 日をもちまして「8J540M」を含め、全エリヤの 7MHz 拡大記念特別局の運用は終了いたしました。

その間、CQ 出版社から「7MHz Activity Award」が発行(2009/4/1～2010/3/31 交信有効)され、JARL では「7MHz 拡大記念 QSL パーティー」が実施されましたが、各局お祭りには参加されましたか？

JARL の QSO パーティーはすでに終了しましたが、CQ 出版社のアワードはまだ継続中です。（踊る阿呆に見る阿呆。同じ阿呆なら踊らにや損、損）

参加資格は簡単ですので、アクティビティを取り戻すためにもぜひチャレンジしてみてはいかがでしょうか？（詳細は CQ 誌 4 月号または HP で）

ところで「8J540M」の運用結果について、JARL 香川クラブが担当した 5 月 18 日から 6 月 18 日までの約一ヶ月間の運用結果は下記のとおりでした。

8J540M（7MHz帯拡大記念特別局）運用記録(2009/5/18～2009/6/18)									
エリア別交信数		運用日別交信数		バンド・モード別交信数			運用者別交信数		
エリア	局数	運用日	局数	バンド	モード	局数	Op	局数	
1	731	5月20日	311	7MHz	SSB	1,964	JA5TFJ	890	
2	501	5月21日	169	7MHz	CW	895	JI5XTP	735	
3	437	5月23日	263	3.5MHz	SSB	117	JH5LYW	442	
4	303	5月24日	367	144MHz	FM	6	JH5EZB	258	
5	178	5月30日	234	430MHz	FM	13	JR5PPN	235	
6	263	5月31日	78	合計		2,995	JE5DUL	194	
7	176	6月3日	85				JR5XQD	109	
8	73	6月6日	363				JR5DPV	66	
9	113	6月7日	538				JA5MG	33	
0	198	6月12日	240				JR5QIH	33	
DX	22	6月13日	159				合計	2,995	
合計	2,995	6月15日	45						
		6月16日	143						
		合計	2,995						

何の前触れもなく、降って湧いたような記念局の運用でしたが、運用にご協力いただいた方、記念局の当番として協力いただいた方、いろいろな方の有形無形の協力があったが無事終了することができました。改めて、誌上ですが各局に御礼申し上げます。

どのような行事でも同じですが、企画・立案・計画、準備、シュミレーションがあって始めて本番を迎え、それが終わると片付け、総括、反省と続きます。

そこまでやって、やっとひとつの行事を終えることになります。

最初から最後まで携わる方、節目で中心になって携わってくれる方、途中過程で協力・お手伝いいただける方など、事の大小に関わらずいろいろな方の力の結集で行事は成り立つものと思います。（世の中の全てに通じるでしょう）

特に、アマチュア無線の行事はほとんどが手弁当のボランティアです。
ボランティアですので、思うようにならないことや報われないこともあります。
私もよく愚痴を言ったり、不満を漏らしたりしていますが。だからと言って拗ねたり批判したのは、せっかく行事に参加した意義や意見などが色あせたものになります。

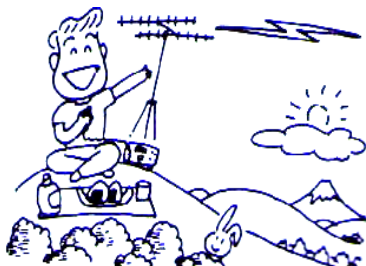
幸いにもJARL香川クラブは歴代会長を始め、会員各位の積極的な協力支援のもと、いまなお香川県始め四国のアマチュア無線界をリードして行くことができております。
これからもずっとアマチュア無線の発展はもちろん、クラブの諸行事、JARLの各種行事、高松市趣味協会への協力、災害時の支援のため活動していかなければなりません。
クラブ員一人ひとりの方がアマチュア無線という趣味を通して、お互いを尊重しあい、充実した毎日を過ごしていただきたいと思います。

クラブ員の方の平均年齢もかなり上がってきております。

「縁起でもない」と言われるかも知れませんが、残された人生を有意義に、価値あるものにしてくださるよう切に願っております。

趣意を理解いただき、今後ともボランティア精神を発揮され、クラブ行事はもちろんアマチュア無線発展のため積極的なご協力をお願いいたします。

コンテスト参加報告



「JA5YDE」がコンテストに参加しました。

オールJA5コンテスト(7/18~19)

バンド	交信局数	マルチ
3.5MHz	25局	19
7MHz	84局	35
14MHz	42局	27
21MHz	12局	10
28MHz	7局	6
50MHz	1局	1
430MHz	1局	1
合 計	172局	99

フィールドデーコンテスト(8/1~2)

バンド	交信局数	マルチ
3.5MHz	29局	20
7MHz	27局	20
14MHz	13局	11
21MHz	10局	8
28MHz	8局	6
50MHz	3局	3
430MHz	4局	2
合 計	94局	70

JARL主催コンテスト

JARL主催コンテストその他クラブ
対抗部門があるコンテストに参加した
時には、サマリーシートの登録クラブ
対抗欄に

登録クラブ 番 号	36-1-1
登録クラブ 名 称	JARL香川クラブ

と記入するようにお願いします。

個人のアクティビティー向上とクラブ
の活性化のため、どしどしコンテスト
に参加しましょう。

Op.JH5LYW

フィールドデーコンテスト

de J I 5 X T P

私が移動運用をするとき注意をしていることが3つある。
一つ目はローケーション、二つ目はアンテナの選定、三つ目はコンディションである。
ローケーションは車の置き場があり、アンテナの設営が出来る場所があり、発電機の運転音が他者に迷惑をかけないところ。アンテナはローケーションによってV型ダイポール730V かワイヤーダイポール+ATU、GPに分けている。

コンディションは季節と時間帯で絶えず変化をしているので、神頼みである。

今回のフィールドデーコンテストはさぬき市の「門入ダムサイト」に決めていた。
駐車場がありトイレが完備をされている最高のローケーションなのでアンテナはV型ダイポール730V と3.5MHz 用ダイポール持参することになっていた。

最近は天候が絶えず変わるので明るい内にアンテナを設営しようと、19時前に現地に赴き、30分位で730V と3.5MHz 用ダイポールアンテナの設営をした。
730V は移動用に接合部はすべて蝶ねじ仕様にして、工具を使わず短時間で組み立てられるように細工をしている。

コンテストの開始は21時からなので夕食のおにぎりを頬張る。
夕食を終えると、周波数の確保とアンテナの試験をかねて1時間前から電波を出す。

3.5MHz から28MHz までSW R1.1 から1.6の範囲で良好である。

「NW ANT TEST」と打つとシビアなレポートを入手することができ、約50局ほどとレポート交換をすることができた。

21時になると7MHz でコンテストに参戦。

途中雨が降ってきたので発電機を木陰に移しシートをかぶせる。ドアを締め切ると車内は蒸し風呂状態で「扇風機をもってきたらよかったなあ」後悔をする。
また、雨が上がり。車の窓をあけると今度は蚊の攻撃を受ける。これまた蚊取り線香を忘れたことを後悔する。

翌日のお昼前に再度7MHz に移るが、他局の抑圧を受け7MHz を断念した。

私が移動運用で周波数を選局するときは必ず200Hz ずらす。

たとえば7.011KHz のときは7.011.200Hz にする。7.011KHz していた場合に、コンディションがあがったとき必ずとっていいほど混信を受けるからである。

7MHz をあきらめて、すぐ50MHz のアンテナを設営し再度参戦。

コンテスト18時間中、3時間の仮眠を取り15時間もコンテストを満喫した。

周波数別交信局数

3.5MHz 84局、7MHz 193局、14MHz 89局、21MHz 145局、
28MHz 16局、50MHz 21局

成績：総交信局数548局、マルチ170、総得点186,320点



製作技術講習会のご案内

今年の製作技術講習会は、144/430MH モービル用コンパクトアンテナ
(ツイン アストラフレックス アンテナ) です。皆様の参加をお待ちしています。

記

1. 日 時 平成 21 年 9 月 27 日 (日) 9 時半～17 時
(都合により当初計画 13 日から変更しました)
2. 場 所 丸亀市栗熊研修センター
(元綾歌町農村環境改善センター)
(元綾歌町役場敷地内)
3. 参加費 ￥2,500 円 (当日集金)
4. 準備物 ハンダごと (15～30W ワット数の大きいのがあれば F B), こて台
ニッパー、ラジオペンチ、細マジックペン、等を持参下さい
5. 申 込 往復葉書または E-mail で
〒769-

方 製作講習会係

E-mail

6. 締 切 平成 20 年 9 月 12 日(土)必着
・定員 (16 名) になりしだい締め切りますので、
お早めにお申し込みください。

2009 全日本 ARDF 競技大会のご案内

今年度の全日本 ARDF 競技大会が茨城県土浦市で開催されます。

記

- 開催日： 本大会 : 平成 21 年 10 月 21 日 (日)
エキシビション競技 : 平成 21 年 10 月 24 日 (土)
- 開催地： 本大会 : 茨城県土浦市
エキシビション競技 : かすみがうら市
- 参加資格 : どなたでも参加できます。
- 受付期間 : 平成 21 年 8 月 1 日～31 日 (消印有効)
- 参加費用 : 本大会 JARL 会員 5,000 円・非会員 10,000 円
19 歳以下 JARL 会員 2,000 円・非会員 3,000 円
エキシビション競技 1,000 円(19 歳以下 500 円)
- 申込先 : 〒170-8073 東京都豊島区巣鴨 1-14-5 JARL 運用課
2009 全日本 ARDF 競技大会係

詳しくは JARL Web ホームページ (<http://www.jarl.or.jp/>) をご覧ください。

クラブ報の原稿大募集！！

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などジャンルは問いません。
原稿はメール、郵送、引取他、ご一報を頂ければご連絡をいたします。

連絡先：事務局及びE-mail

まで

★★★ 新入会員募集中 ★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成 61 年目 (1948 年 10 月結成) になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集
にご協力ください。

J A R L 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成 21 年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好	伸 幸
編 集 者	J A 5 T F J	横 田	寿 夫
	J H 5 W M N	山 口	博 司
	J I 5 X T P	坂 内	信 洋